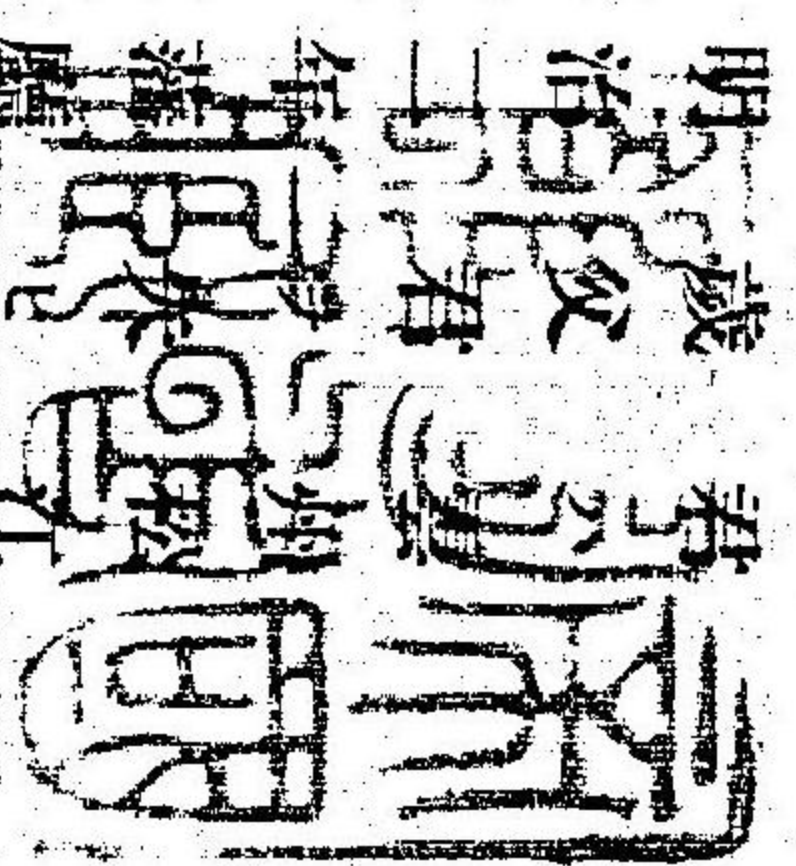


F545

山口博士建築図集



400-58



從五位工學博士山口半六君略傳

藩士山口軍兵衛氏ノ第二子ニシテ安政五年八月廿三日ヲ以テ生ル年十
歲父君ヲ依テ養育セラ
母君ニ依テ養育セラ
明治五年歸國ニ於テ佛人某等ヲ招聘シ佛蘭西語學校ヲ開ク君即チ官命ヲ以テ就テ學
其三年君十三歲ヲ負ヒ東京ニ出テ翌四年大學南校ニ入ル君資性英敏學業ノ進歩ノ甚
ク速ナルヲ以テ常ニ同窓ノ畏敬スル所トナル明治八年文部省本校ノ優等生數名ヲ撰拔
シテ海外留學ヲ命ス翌九年亦此舉アリ君即チ其撰ニ當リ佛國ニ赴キ巴里府工業中央專
門學校ニ入學ス在學三年業ヲ終ヘ諸藝技師專門建築師 Ingénieur des Arts et Manufactures, Spécialité

le Coiffage)ノ學位ヲ受ク然レトモ君巴里府ニ止マラルコト尙二年其間實地ニ就キ建築ノ
事業ヲ練習シ又工業中央專門學校ノ教授ミユル氏ノ煉瓦製造所ニ入り親シク煉瓦
及其他建築用土器製造ノ術ヲ研究ス明治十四年海外留學ノ期滿チテ歸朝シ翌十五年一
月郵便汽船三菱會社ノ聘ニ應ジ專ラ建築工事ノ施設ニ從事シ大ニ君カ實地ノ技術ヲ研
鑽スルコト實ニ二年間大阪及函館ニ於ケル日本郵船株式會社ノ支店及其附屬倉庫橋梁
等ハ皆君カ當年建築スル所ナリ
明治十八年四月君文部省雇トナリ幾何ナラスビテ文部省書記官ニ任ス後更ニ文部技師
ニ任シ東京帝國大學ノ工科及理科化學教室ノ造營ヲ擔當ス其他直轄諸學校ノ改築増設
等君ノ經營ニカ、ルモノ妙カラス高等中學校ノ一時ニ増設セラハ、ニ當リ君又是カ建



寄贈本

築事務ヲ管理シテ献策スル所甚々多シ既ニシテ君會計局建築掛長ヲ命セラレ文部省所

管ノ諸建築ヲ統督シ其事務大ニ擧ル偶々流行性感胃ニ罹リ病幸ニ癒ユルヲ得タレトモ

君ノ健康是ヨリ舊ノ如クナラス即チ醫師ノ勸告ニ由リ靜養ノ旨ヲ述ヘテ退官ノ意ヲ致

シ二十五年二月非職ヲ命セラレ爾來須磨舞子等ノ暖地ニ閑居シ攝養甚タ勤ムルコト二

年病息ラス遂ニ慢性肺患ニ變ス君於是遂ニ全治ノ望ナキヲ覺リ碌々トシテ餘命ヲ送ル

コトヲ欲セス明治二十七年ノ頃憤然意ヲ決シ再ヒ起テ技術ノ爲メニ齋ス所アラントス

偶々大阪ニ桑原工業事務所ナルモノ起リ技術専門ノ士ヲ集合シテ博ク工業社會ノ顧問

トナリ大ニ斯業ノ改良進歩ヲ圖リ且技術家獨立營業ノ端緒ヲ開カント欲スルノ擧アル

ヲ聞キ君其主意ヲ贊シ入テ建築部ヲ擔當ス其間實ニ五星霜君病軀ヲ厭ハス拮据奮勵以

テ世需ニ應ジ兵庫縣廳ヲ初メトシ銀行諸會社ノ本支店及諸種ノ製造所等君カ計畫監督

スル所ノ建築數フルニ遑アラズ近來阪神地方ニ於テ結構良巧ノ建築ヲ見ルニ至リシハ

君其模範ヲ作ルト云フモ過言ニ非ス

君又市區街路ノ設計ニ關スル研究ヲ嗜ミ且其技ニ精通ス偶々明治三十年大阪市ニ於テ

其境域擴張ヲ議決スルヤ同市參事會ハ即チ君ニ囑スルニ新編入地ニ於ケル新設市街ノ

設計ヲ以テス君爲メニ身心ヲ委ヌルコト年餘熱心最モ勤ム計畫ノ内容ハ獨リ街路ノ配

置及之ニ關スル諸件ニ止マラス大小公園ノ位置掘割ノ新設濱地ノ利用町名番地ノ設定

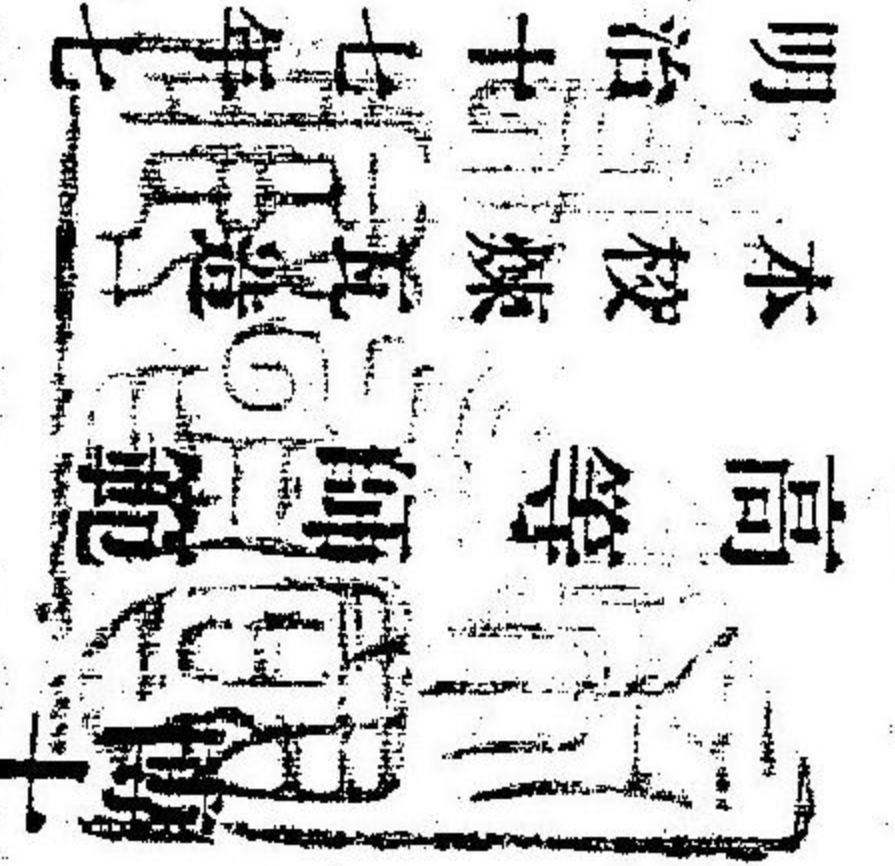
方ニ至ルマテ詳細之ヲ規定シテ洩サス蓋シ是君カ學生ノ大計畫ナリシナリ

明治三十三年長崎市亦街路改正ノ議アリ同市長之カ設計ヲ君ニ囑ス君又喜ンテ之ヲ諾
シ同年八月初旬病間ヲ偷ミテ旅裝ヲ整ヘ夫人ト共ニ該地ニ赴キ仔細ニ新市街ノ敷地ヲ
踏査シ滞在數日用務ヲ終リ海路ニ由テ歸ル偶々二三知友ノ同乘スルアリ君之ト快談時
ノ移ルヲ知ラス豈圖ラソヤ歸神ノ翌朝即チ同月二十三日躰ヲ出テ忽然呼吸切迫ノ狀ヲ
リ家人驚愕急ニ醫師ヲ招ク然レトモ其診ヲ受クルニ及ハスレテ溘焉逝去ス享年四十有
三
君二十四年八月ヲ以テ工學博士ノ學位ヲ授ケラレ廿八年三月特旨ヲ以テ從五位ニ叙セ
ラル又震災豫防調査會委員第四回内閣博覽會審査官タリ
君山田氏ヲ娶リ一男一女ヲ擧ク男爲一十二歳女禮子九歳令兄宗義君ハ現今日本銀行ノ
理事タリ令弟銳之助君ハ理學博士ニシテ京都帝國大學ニ教授タリ山田氏名ハ須美子貞
淑又巧ニ家政ヲ理メ君ヲシテ病ノ身ヲ以テ久シク重任ニ耐ヘシム夫人内助ノカモ亦大
ナリ
君ノ實業ニ従事スル明治十五年以降僅々二十年ニ充タス而モ其半ヲ病苦ノ間ニ經過ス
而シテ君ノ事業ヲ願フハ官廳銀行學校諸會社各種製造所住家等諸種ノ建築ニ涉リ其數
ノ多キ長壽者一生ノ事業モ之ニ對シテ尙慚色アリ况ソヤ君カ最終ノ事業ナル大阪市街
設計ノ如キハ君カ遠大ノ思想ヲ包含スルモノニシテ又我國古今ヲ通シテ無二ノ大計畫
ナリトス嗚呼君ノ重忠ト相戰ヒ尙如此昭々タル事蹟ヲ後世ニ遺ス君ノ如キハ技術界ノ

一 偉人ト云フヘキナリ
君ノ特技ハ經濟ヲ主トセル建築ニ在リシヲ以テ莊嚴ナル裝飾ニ富ムモノニ就テハ骨ヲ
其技倆ヲ試ミサリシ然レトモ君ノ圖ヲ案スル深ク意匠ヲ凝ヌ所アルヲ以テ其最モ質素
ナル建築ニアリテモ尙高尙優雅大ニ趣味ニ富ム其現場ニアリテ工ヲ督スルヤ深切周密
至ラサルナク最モ用材ノ撰擇ニ巧ミナリ是君ノ特色ニシテ大ニ世上ノ信用ヲ得タル所
以ナリ
君常ニ質素謹勉ノ風ヲ尙ヒ萬事ニ整然タル規律アルヲ好ム其人ト對話スル多言ヲ贅セ
ス然レトモ時ニ臨ミ興ニ乘スレハ卽チ諄々倦ヌ該博ノ識言外ニ溢レ聞クモノヲシテ
厭カサラシム又好ソテ文學ノ書ヲ愛讀シ哲理及美術ニ關スル諸論ヲ好メリ君是等ノ嗜
好ニ由リ大ニ其氣ヲ培ヒ其神ヲ養フ所アリシヲ以テ能ク重患ノ身ヲ以テ孜孜實務ニ從
事スルヲ得タルヤ疑ヲ容レヌ天若シ假スニ壽ヲ以テセハ世ヲ益スルコト蓋シ尠少ナラ
サリシナラシ豈ニ悲シカラヌヤ

冲野忠雄識

工部省工務局長ノ設計及監督ニ係ル主要ナル建築物ノ梗概



一 高等師範學校 在東京

本校煉瓦造三階建(參百八拾五坪餘)物理學教室同平家建(百七拾壹坪餘)

明治廿七年七月起工同二十年三月竣工

一 高等商業學校 在東京

事務室煉瓦造二階建(百六坪)

明治十八年十月起工同十九年六月竣工

一 帝國大學理科大學 在東京

煉瓦造二階建(五百五拾餘坪)

明治十八年十一月起工同二十一年十二月竣工

一 第一高等中學校 在東京

本校煉瓦造二階建(五百七拾九坪)物理化學實驗室同平家建(四百六拾參坪餘)寄宿舍木造三階建(五百五拾坪)豫備科教室木造平家建(九百六拾六坪餘)

明治二十年四月起工同二十三年二月竣工

一 第二高等中學校 在仙臺

本校木造二階建(貳百貳拾參坪餘)物理化學實驗場所平家建(貳百四拾八坪餘)附屬倉庫煉瓦造平

家建(參拾五坪餘)講堂木造平家建(百七拾叁坪餘)生徒控所及教員室木造平家建(百四拾坪)寄宿舍

木造二階建(七百五拾六坪)廚房其他木造平家建(貳百拾坪餘)雨天體操場同(百七拾叁坪)銃器室同

(六拾坪)醫學部教室及解部室(四百貳坪餘)

明治二十一年六月起工同二十四年十月竣工

一 橫濱正金銀行神戸支店

煉瓦造二階建間仕切木製側石窓入口廻り長押類花崗石軒蛇腹銅板屋根瓦葺(百九十餘坪)

明治二十七年二月起工同二十九年十二月竣工

一 日本紡織株式會社工場 在西ノ宮

煉瓦造平家建屋根鋸齒形瓦葺(參千百貳拾四坪)

煉瓦造煙突一基(高百二十五尺)

明治二十九年一月起工同年十二月竣工

一 明治生命保險株式會社大阪支店 (監督)

煉瓦造二階建側石窓入口廻り長押蛇腹類花崗石窓入口「レヤッタ」附床下全部地下室屋

根石盤葺(百五拾餘坪)

明治二十九年二月起工同三十二年六月竣工

一 日本精糖株式會社工場 在大阪

壁鐵骨煉瓦造窓棹障子鐵製屋根亞鉛引波板葺(六百餘坪)

煉瓦造煙突一基(高百二十尺)

明治三十年五月起工同三十一年五月竣工

一汽車製造株式會社 在大阪

煉瓦造二階建側石窓入口廻リ軒庇腹花崗石屋根瓦葺(百餘坪)

明治三十年五月起工同三十一年六月竣工

一毛斯綸紡織株式會社 在大阪

煉瓦造平家建屋根瓦葺(四千百餘坪)

煉瓦造煙突一基(高百二十尺)

明治三十年十二月起工同三十三年七月竣工

一日本火災保險株式會社 在大阪

煉瓦造二階建側石窓入口廻リ長押類花崗石窓入口「シャッター」附屋根瓦葺(八拾餘坪)但し

附屬家木造

明治三十一年三月起工同三十三年二月竣工

一製鐵所雇外國人官舎 在筑前枝光

木造平家建屋根瓦葺(百參拾餘坪)

明治三十一年五月起工同年八月竣工

一百三十銀行本店 在大阪

煉瓦造二階建側石窓入口廻リ蛇腹長押類花崗石窓入口「シャッター」附屋根石盤葺陸屋根銅板葺(貳百餘坪)

明治三十一年十月起工同三十四年七月竣工

兵庫縣廳 在神戸

煉瓦造二階建建物前半地下室附側石窓廻リ長押類花崗石軒蛇腹銅板屋根石盤葺(六百八拾餘坪)

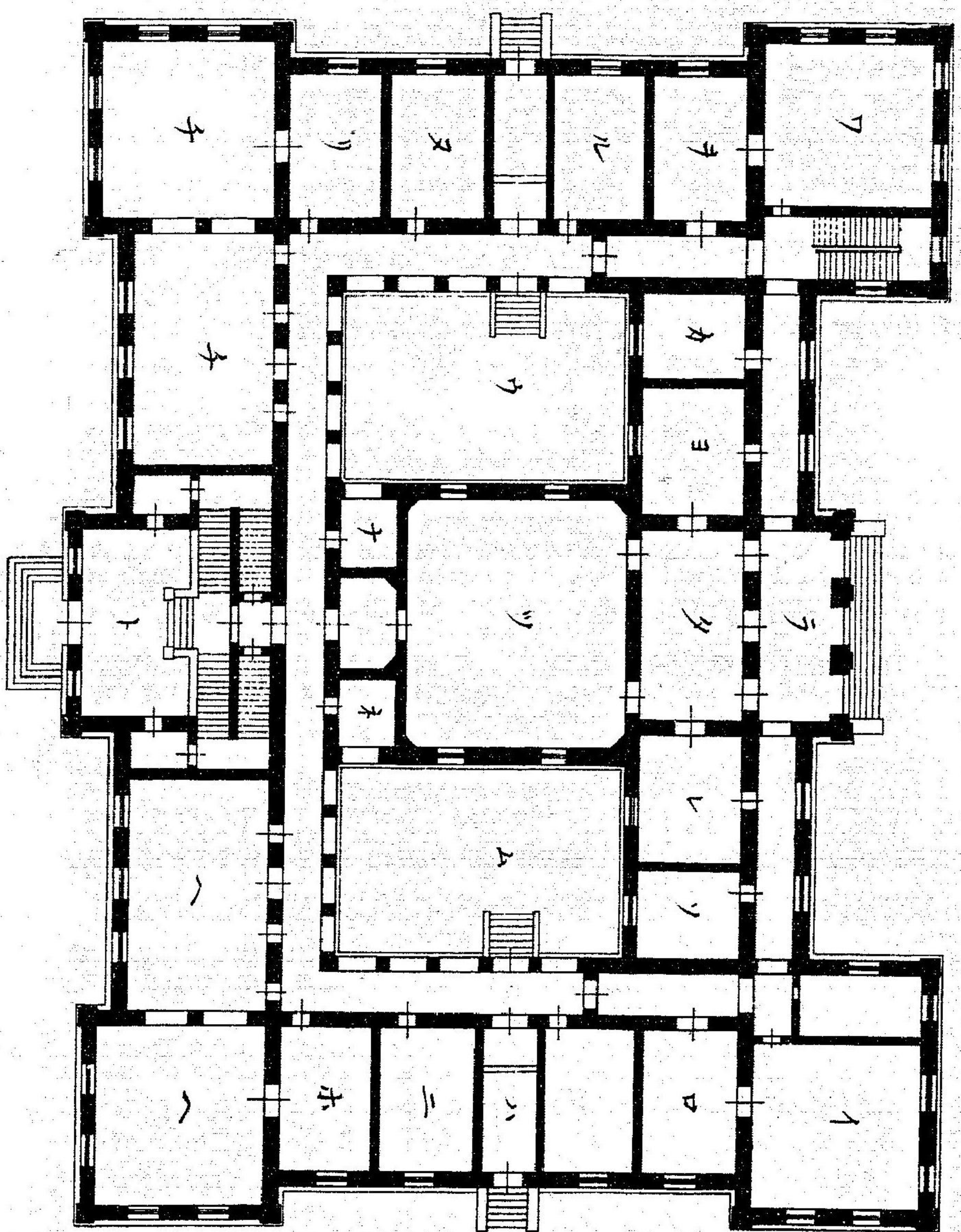
明治三十二年一月起工同三十五年五月竣工

日本貯金銀行本店 在大阪

煉瓦造二階建屋根石盤葺塔屋根銅板葺(百貳拾餘坪)

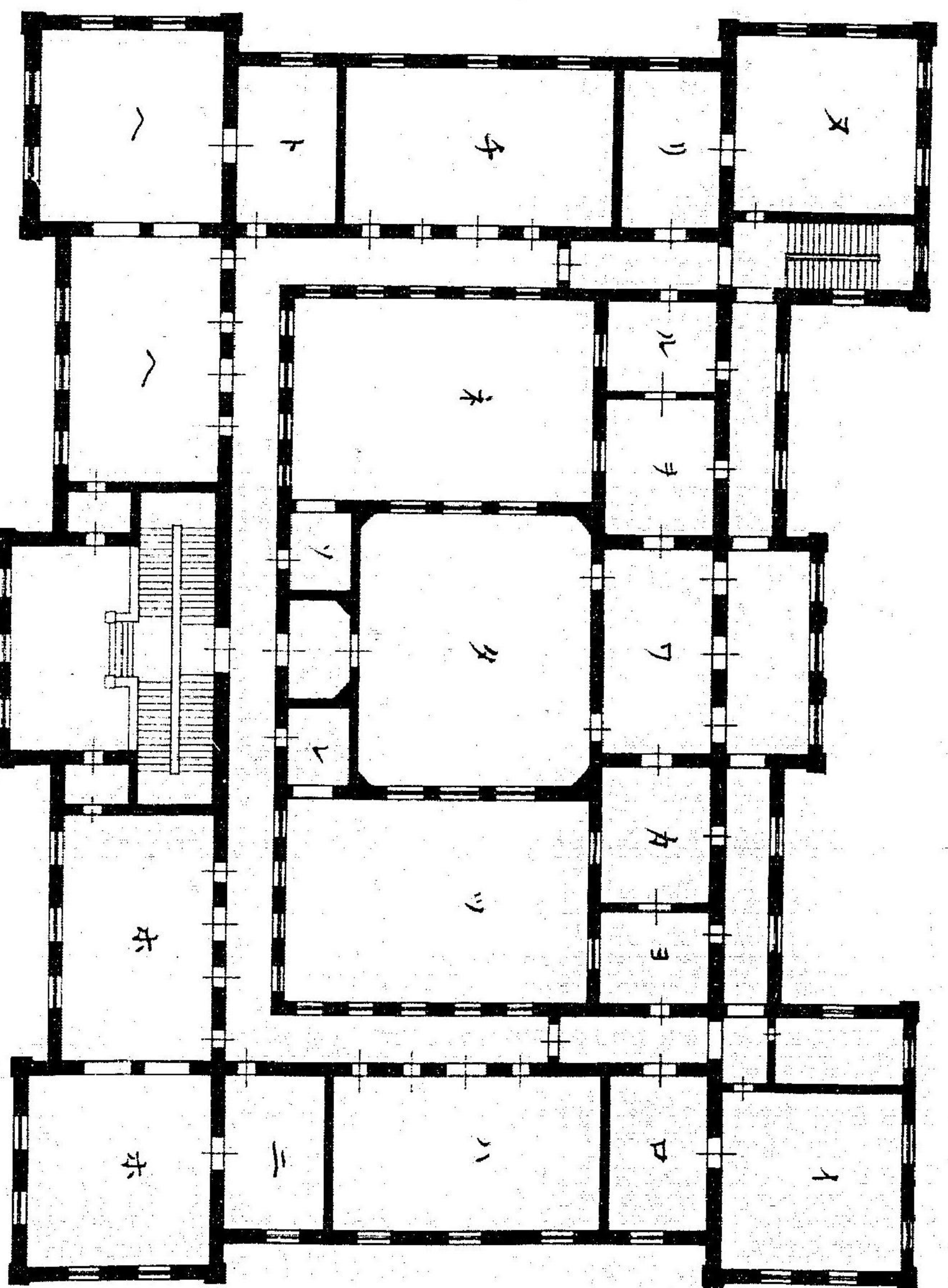
明治三十三年六月起工同三十五年一月竣工

東京帝國大學大物理學下階平面圖



- イ 教場
- ロ 講義試驗室
- ハ 蒸溜室
- ニ 秤室
- ホ 藥品室
- ヘ 定量分析室
- ト 玄関
- チ 驗質分析室
- リ 分光分析室
- ス 藥品室
- セ 吹管分析室
- ワ 講義試驗室
- カ 助教室
- キ 器品室
- ク 講義試驗室
- ケ 化學講義用器陳列室
- コ 教授研究室
- ク 講義室
- ケ 硫化水素室
- コ 硫化水素室
- サ 玄関
- シ 中庭
- ソ 中庭

東京帝國大學大科學堂階上平面圖

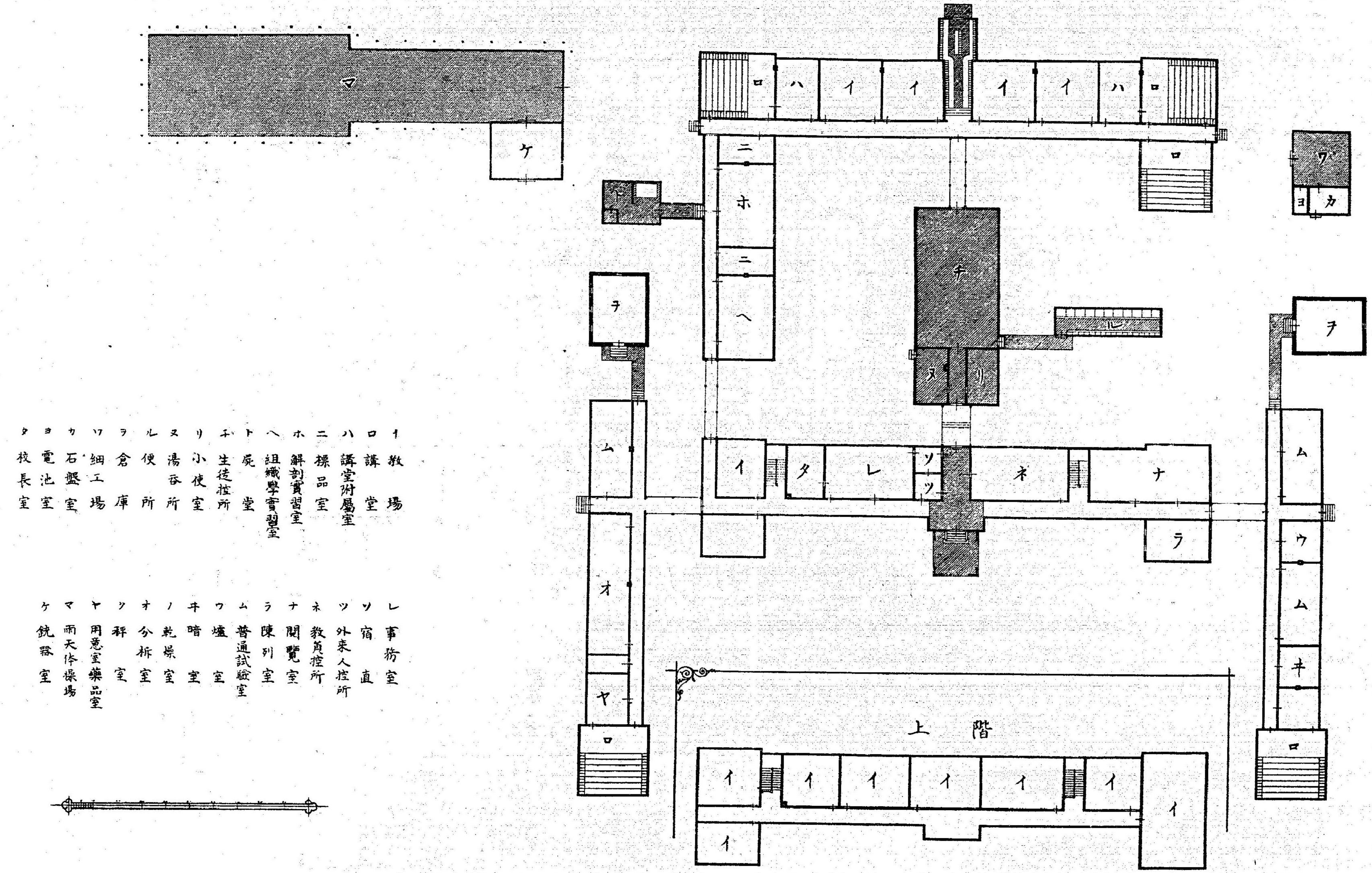


- イ 圖書室
 ハ 口 藥學研究室
 ニ 調劑室
 ホ 初級實驗室
 ハ 研究室
 ト 下 秤室
 ナ 燃料分持室
 リ 排氣鐘室
 ヱ 化學器陳列室
 ナ 蒸溜室
 ヱ 瓦斯分拆室
 ヱ 藥品室
 カ 熱化學實驗室
 ヱ 藥品室
 ヱ 講堂
 ニ 硫化合物室
 ヱ 危險物試驗室
 ツ 中庭
 ナ 中庭

東京帝國大學理科大學

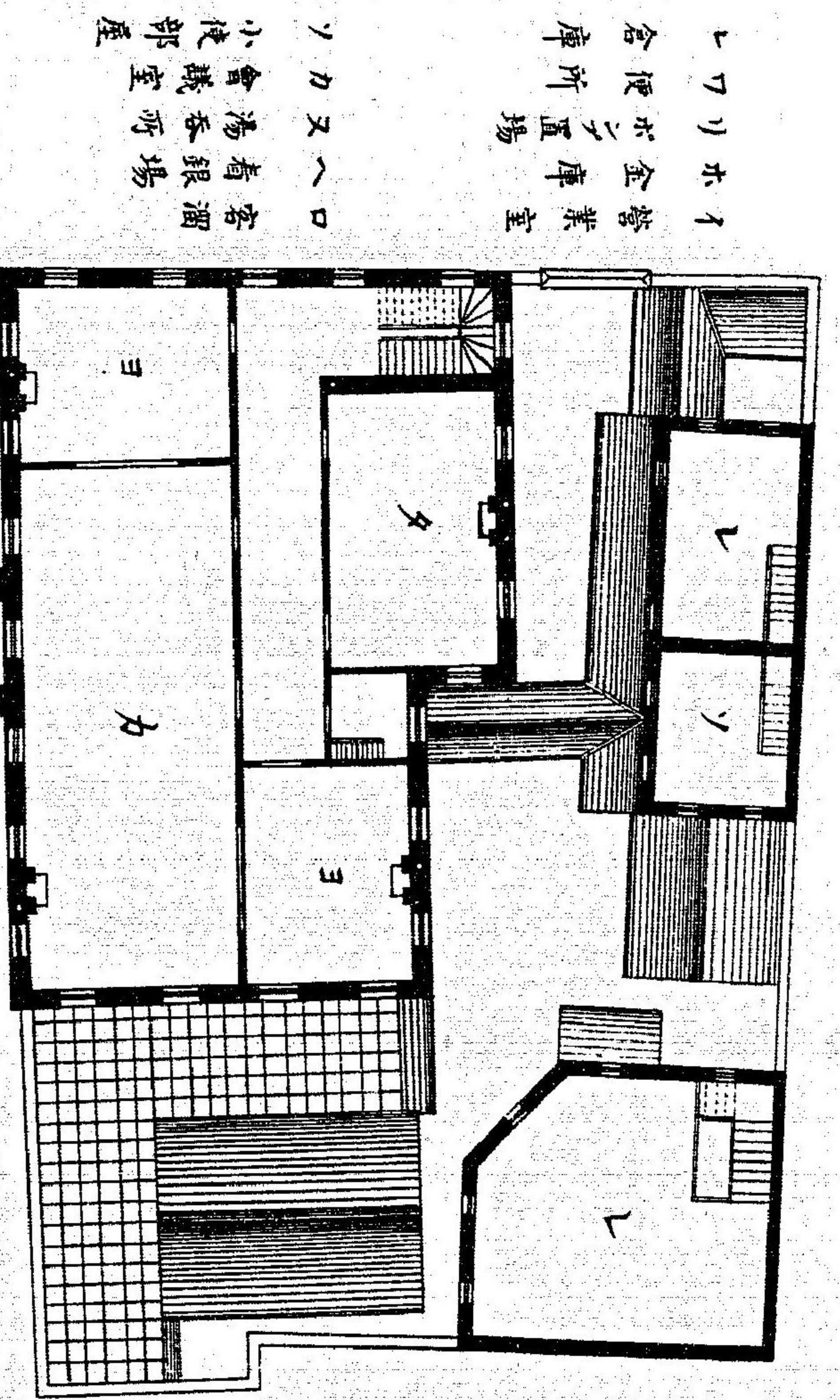


第二高等學校平面圖

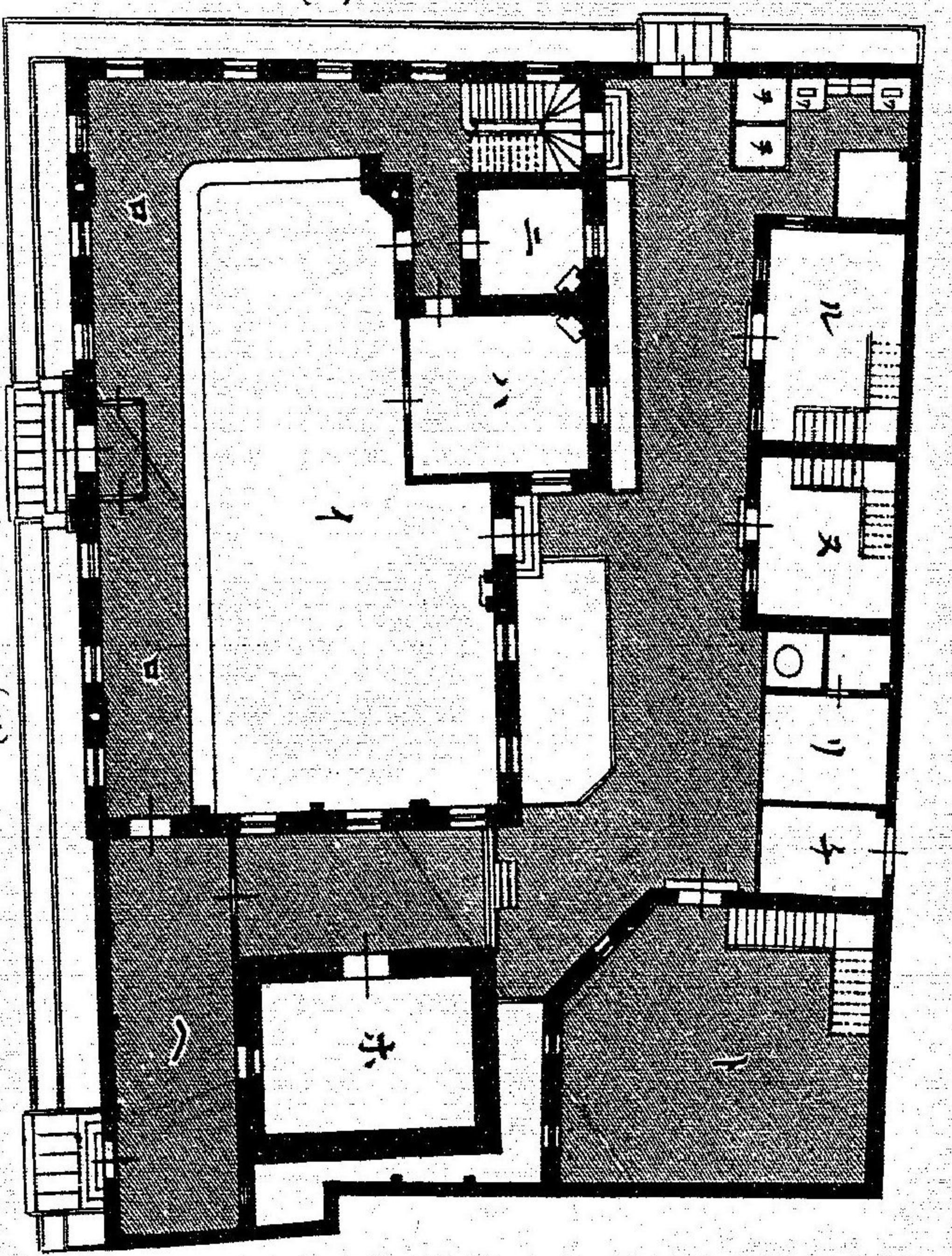


- | | | | |
|---|-------|---|--------|
| イ | 教室 | レ | 事務室 |
| ロ | 講堂 | ソ | 宿直 |
| ハ | 講堂附屬室 | ツ | 外人控所 |
| ニ | 標品室 | ネ | 教員控所 |
| ホ | 解剖實習室 | ナ | 閱覽室 |
| ヘ | 組織學會室 | ラ | 陳列室 |
| ト | 屍堂 | ム | 普通試驗室 |
| チ | 生徒控所 | ワ | 暗室 |
| リ | 小使室 | ヰ | 暗室 |
| ニ | 湯呑所 | ノ | 乾燥室 |
| ル | 便所 | ハ | 分析室 |
| レ | 倉庫 | シ | 秤室 |
| カ | 石盤室 | ヤ | 用意室藥品室 |
| コ | 電池室 | マ | 雨天操場 |
| ク | 校長室 | ケ | 銃器室 |

横濱正金銀行神戸支店平面圖



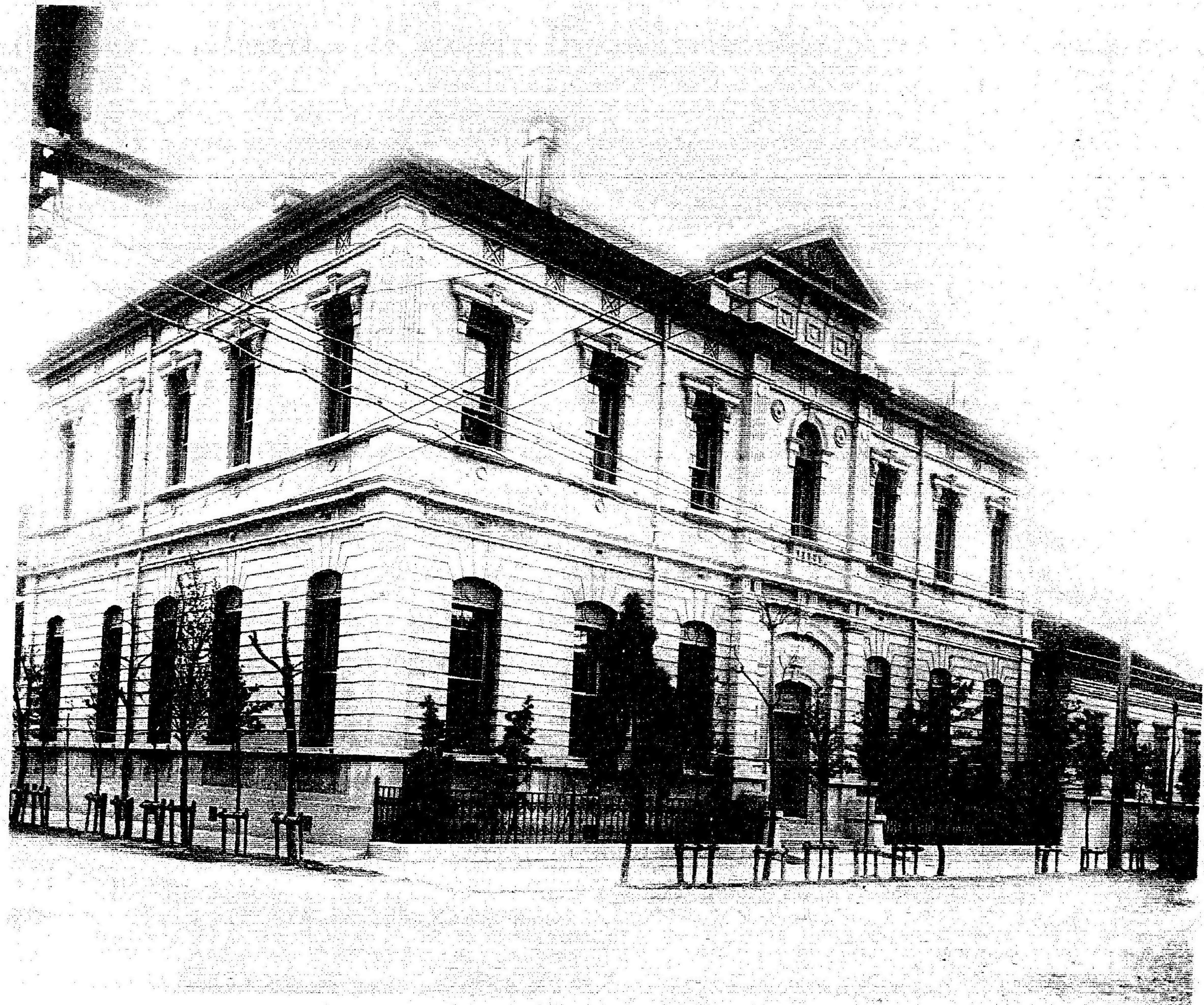
イ 警備室
 ホ 金庫
 リ 便所
 ヲ 倉庫
 ヲ 湯槽
 カ 會議室
 ヲ 小使部屋



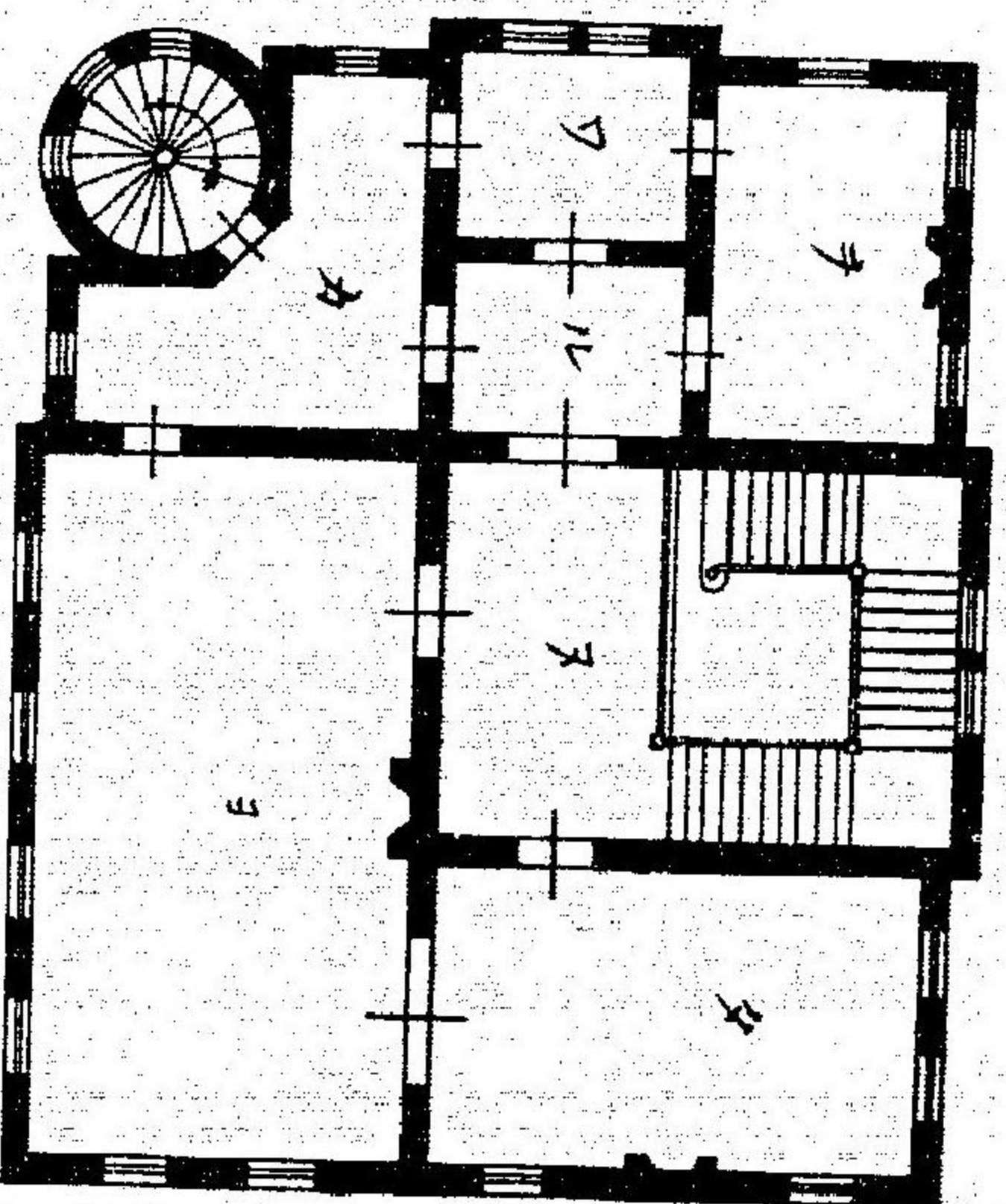
ハ 支配人室
 ト 倉庫
 ル 倉庫
 ヲ 應接室
 ヲ 茶町通
 ニ 應接室
 チ 非常門
 ヲ 巡查派出所
 ヲ 食堂
 ネ 三番踏切通



横濱正金銀行神戸支店



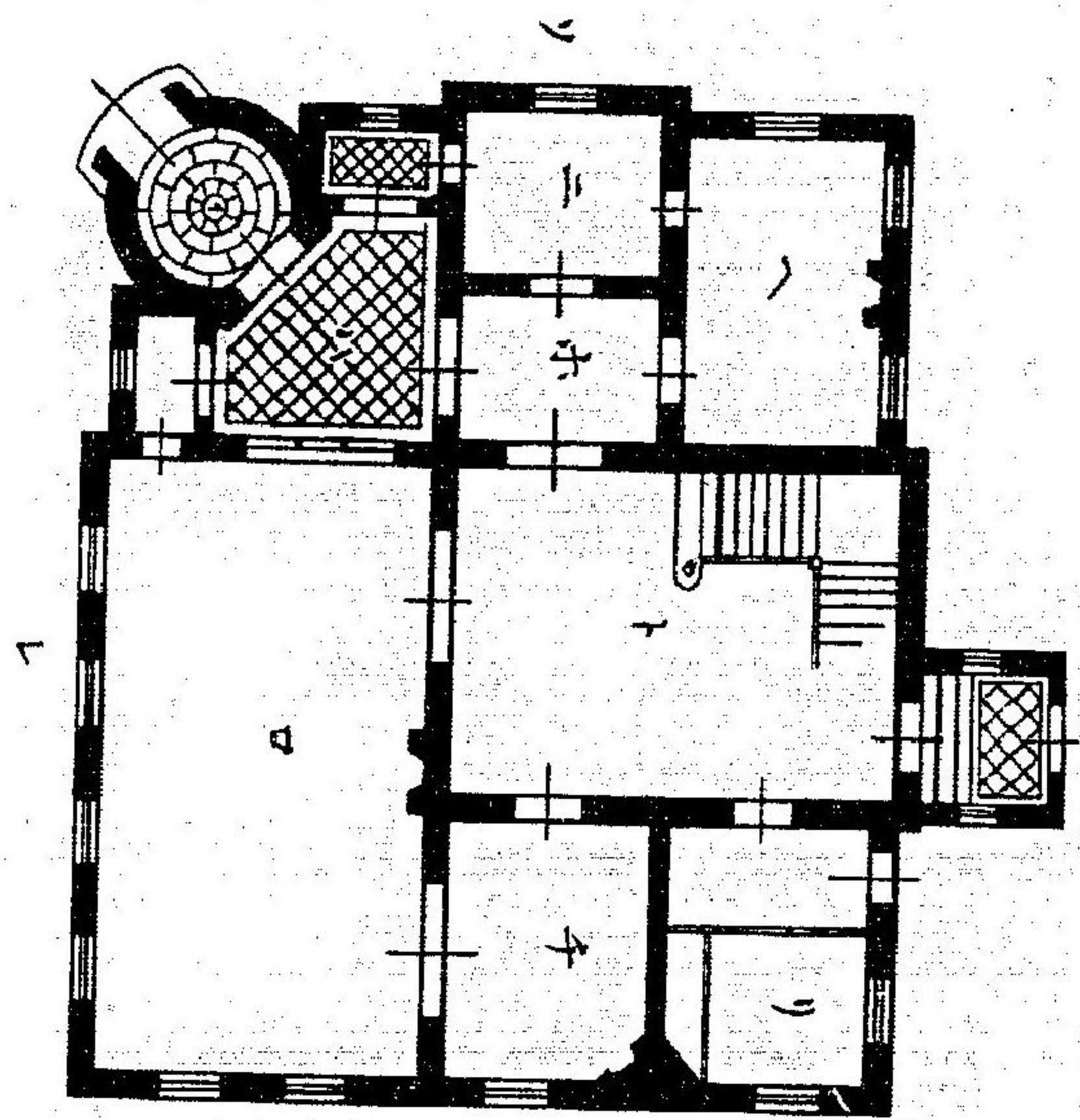
日本火災保險會社平面圖

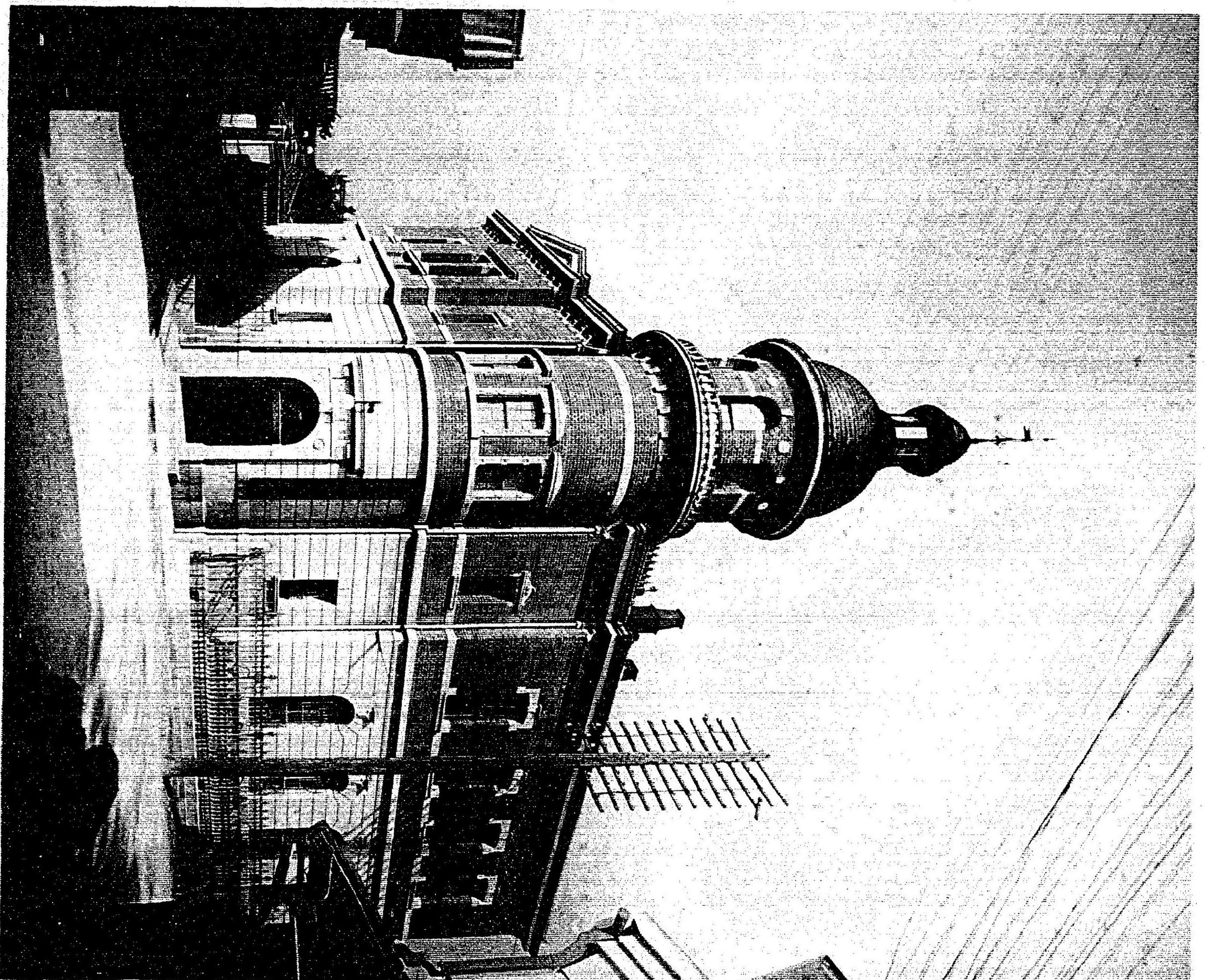


イ 入口
 ニ 加所
 ホ 事務室
 カ 事務室
 ク 事務室
 ケ 事務室
 コ 文書室

イ 入口
 ニ 加所
 ホ 事務室
 カ 事務室
 ク 事務室
 ケ 事務室
 コ 文書室

ハ 玄関
 ヘ 應接室
 リ 宿直室
 ヲ 應接室
 ッ 事務室

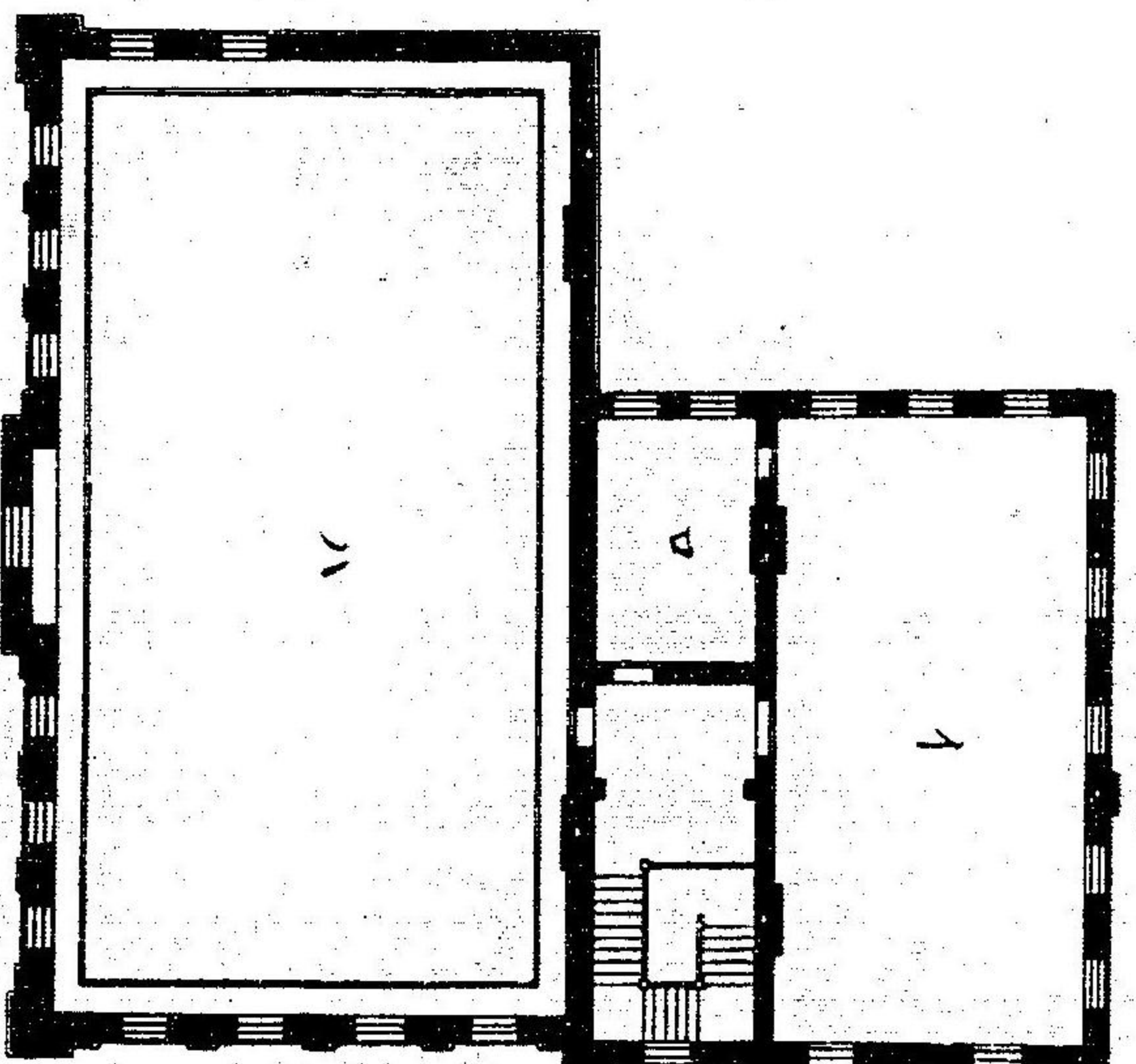




日本火災保險會社

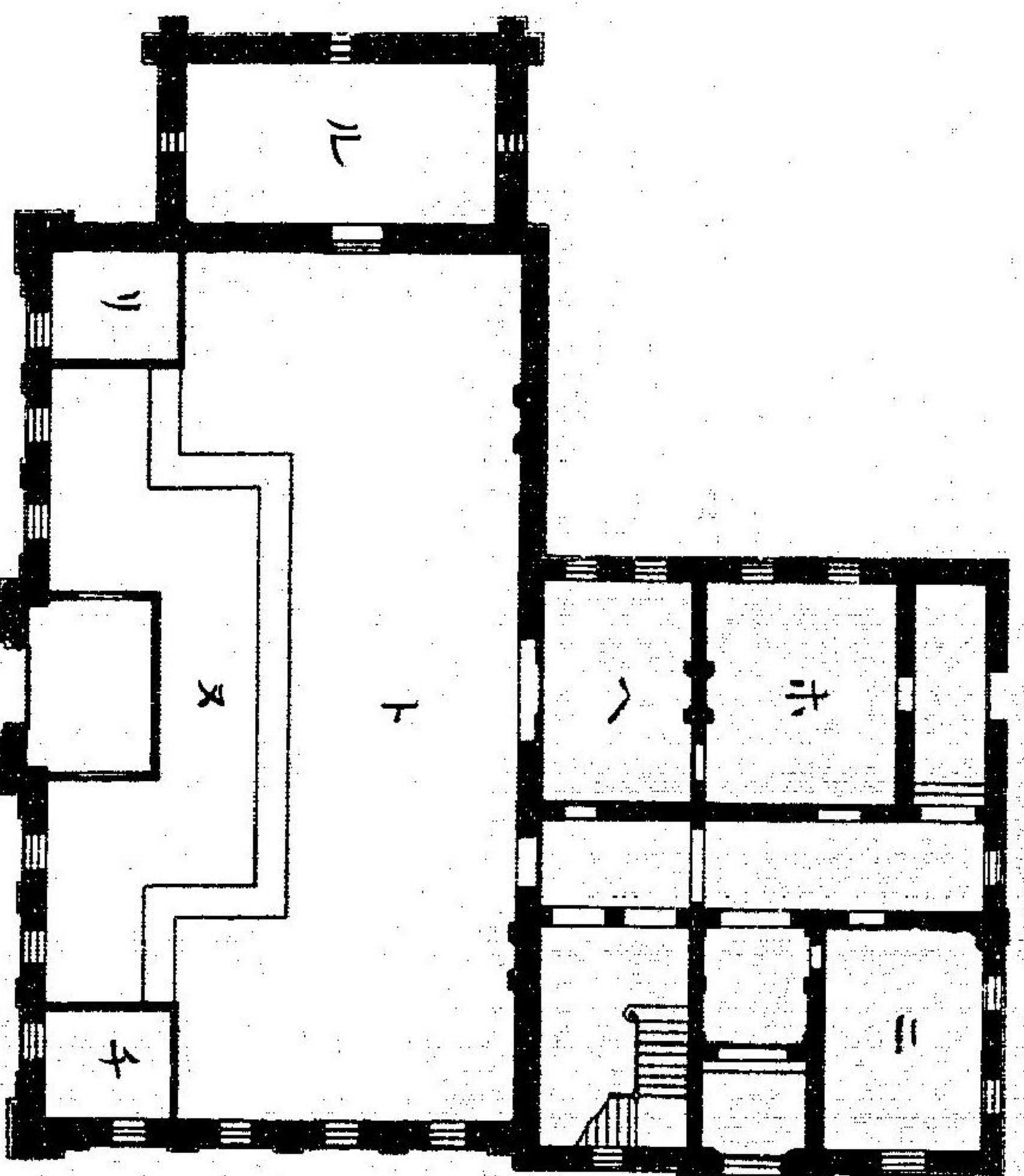
百三十銀行平面圖

階上



- 一 會議室
- 二 應接室
- ト 營業室
- ス 客溜
- ワ 高麗橋筋
- ロ 應接室
- ホ 用度室
- ナ 應接室
- ル 金庫
- ハ 營業室本部
- ニ 應接室
- ヘ 重役室
- リ 應接室
- ヲ 井池筋

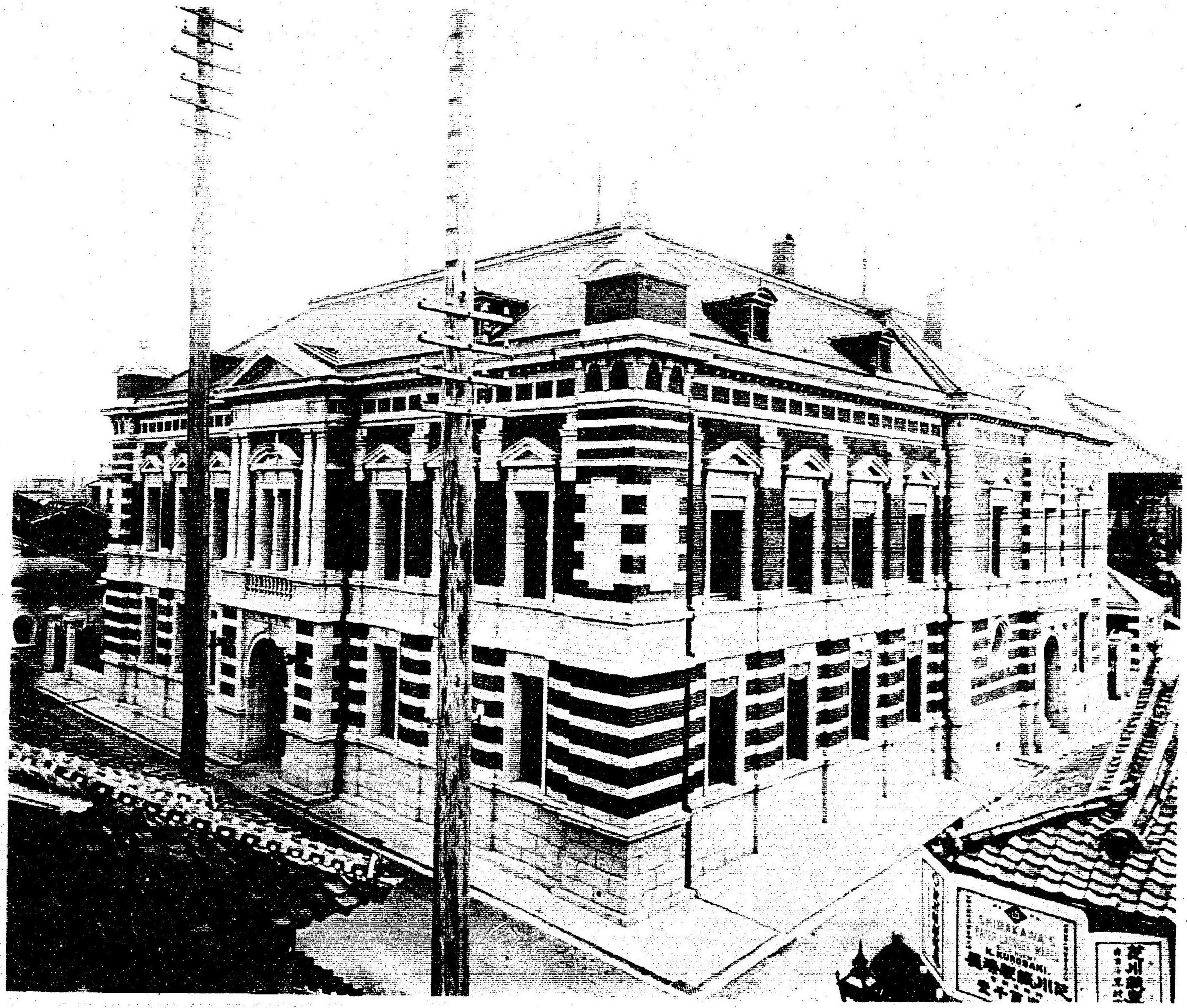
階下



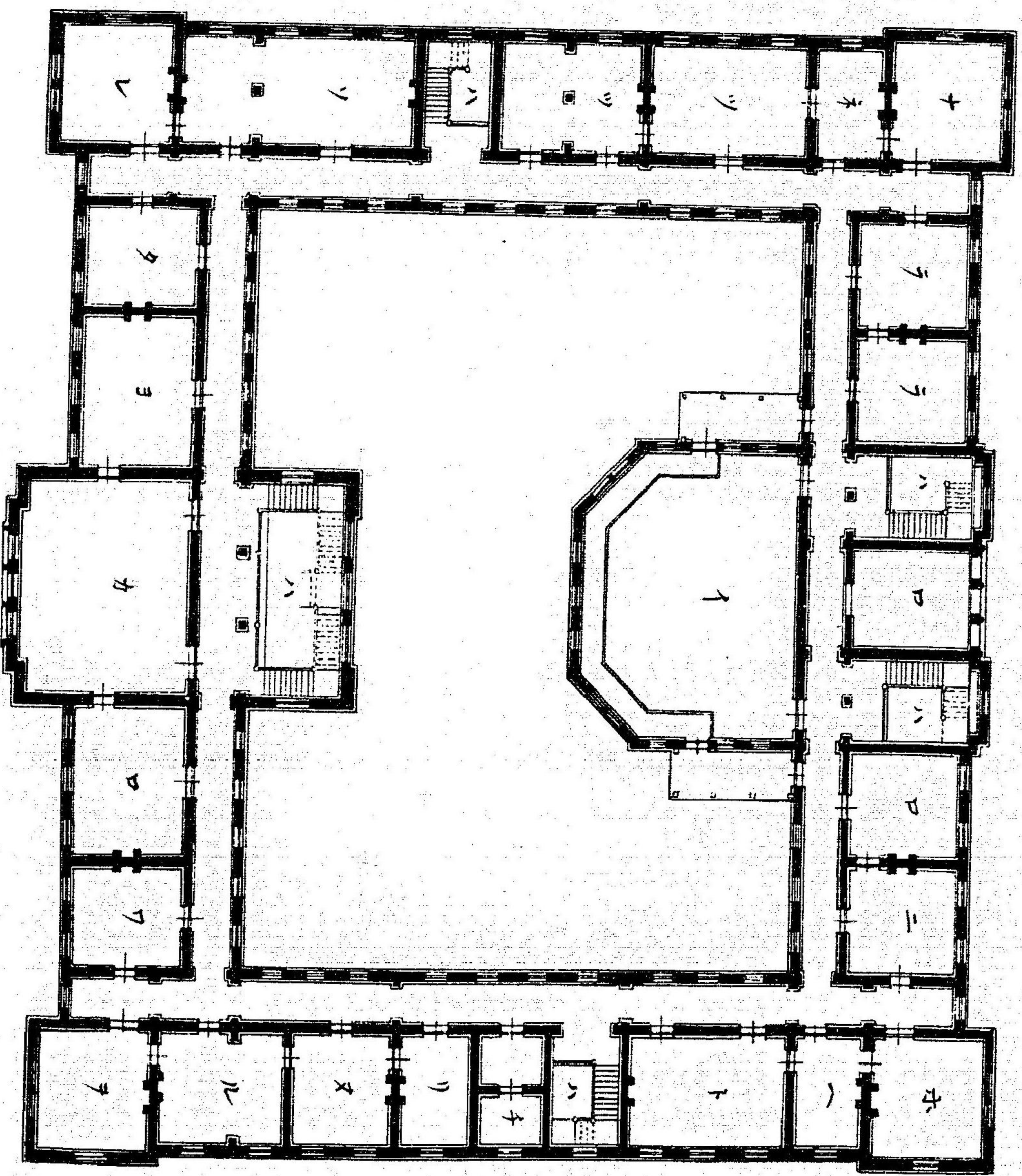
(ワ)



百三十銀行



兵庫縣廳舎階上平面圖



- 階上
- 1 縣會議事堂
 - ハ 應接室
 - 二 正副議長室
 - ホ 外務委員加外
 - ハ 準備室
 - ト 外務會議室
 - ナ 事務所
 - リ 設備室
 - ヌ 書記官室
 - ル 内記掛室
 - ラ 知事室
 - ロ 食堂
 - カ 市市長會議室
 - ヨ 外務係室
 - タ 外務係室
 - シ 參事官室
 - ソ 第三課
 - ツ 第五課
 - ホ 警部長室
 - ナ 別室
 - ヲ 第一課



兵庫縣廳舎

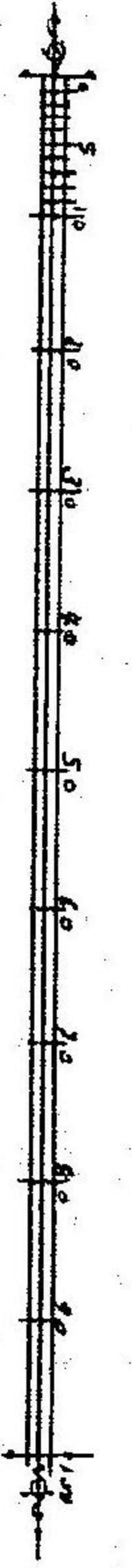
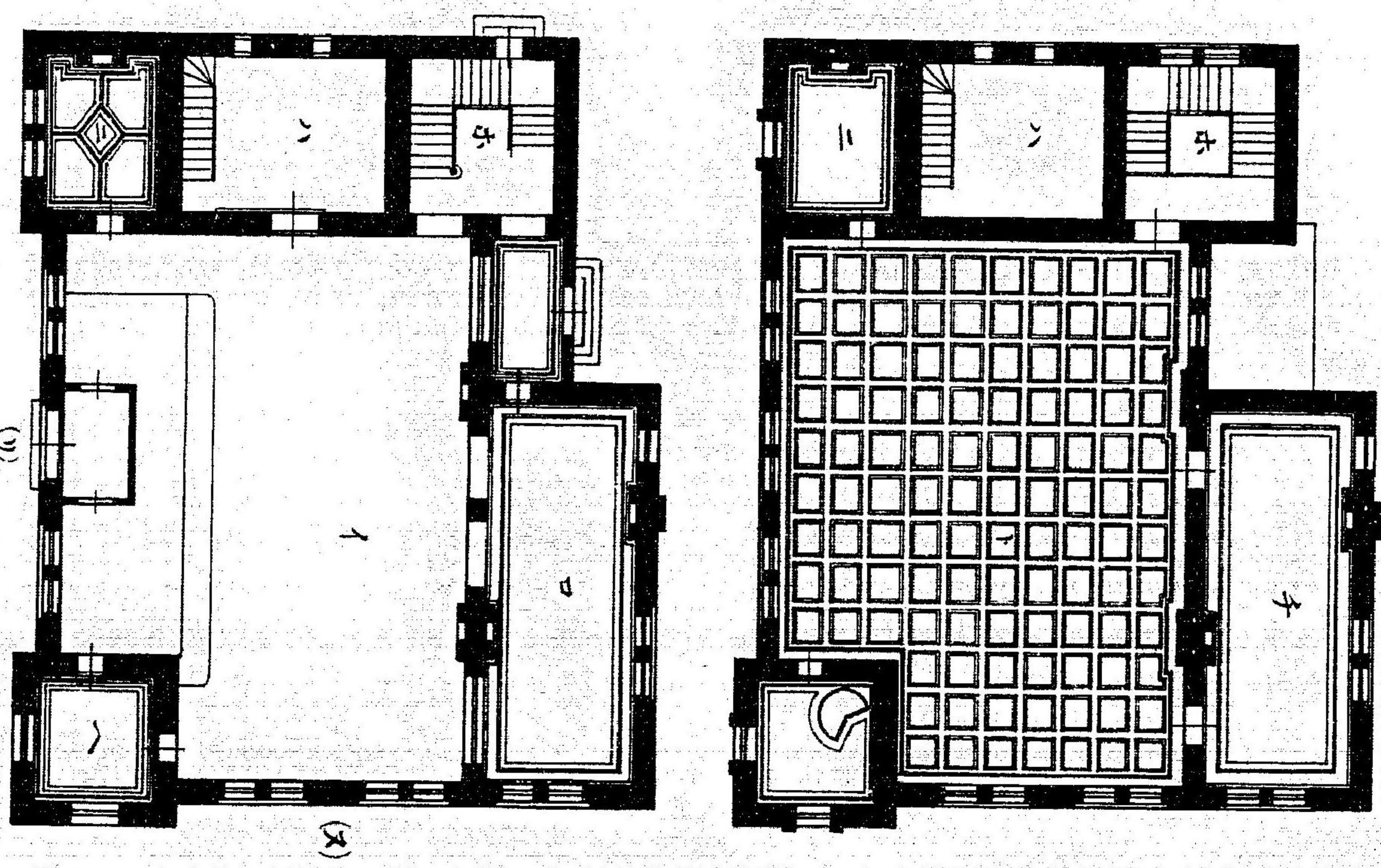


兵
庫
縣
廳
舍



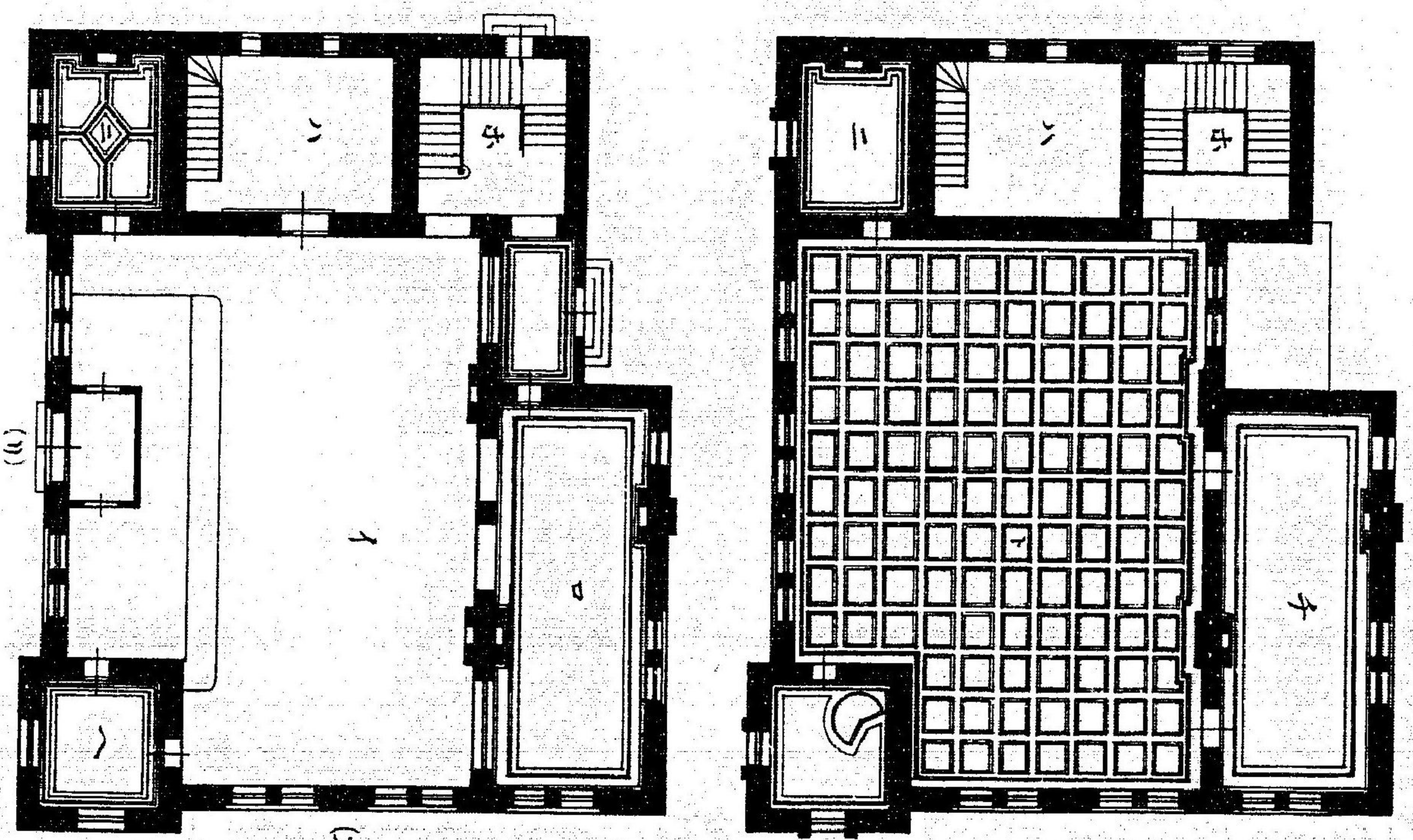
日本貯金銀行平面圖

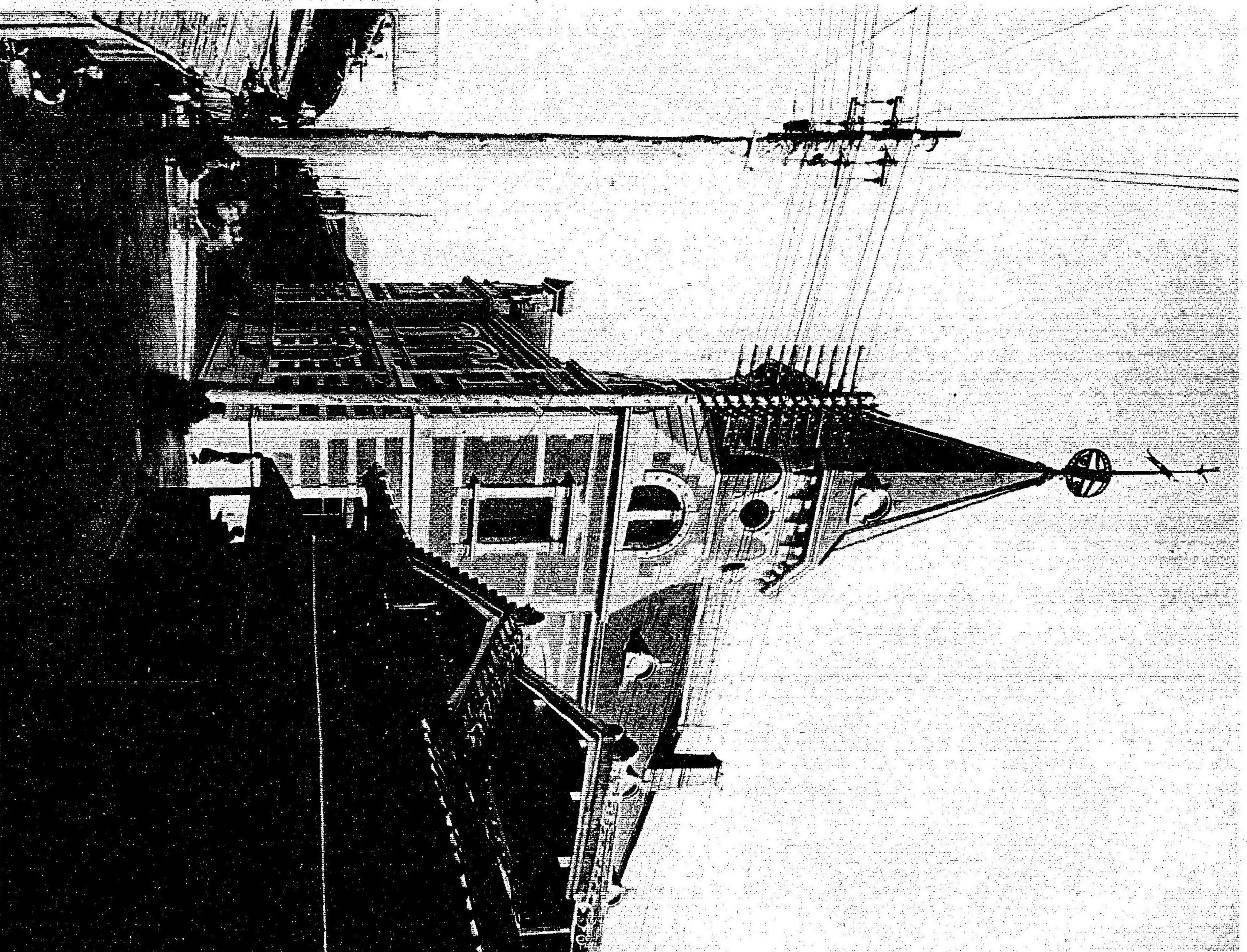
- イ 營業室
- ロ 重役室
- ハ 金庫
- ニ 應接室
- ホ 階段室
- リ 渡路町
- 又 心齋橋筋
- イ 準備室
- ト 營業室上部
- チ 會議室



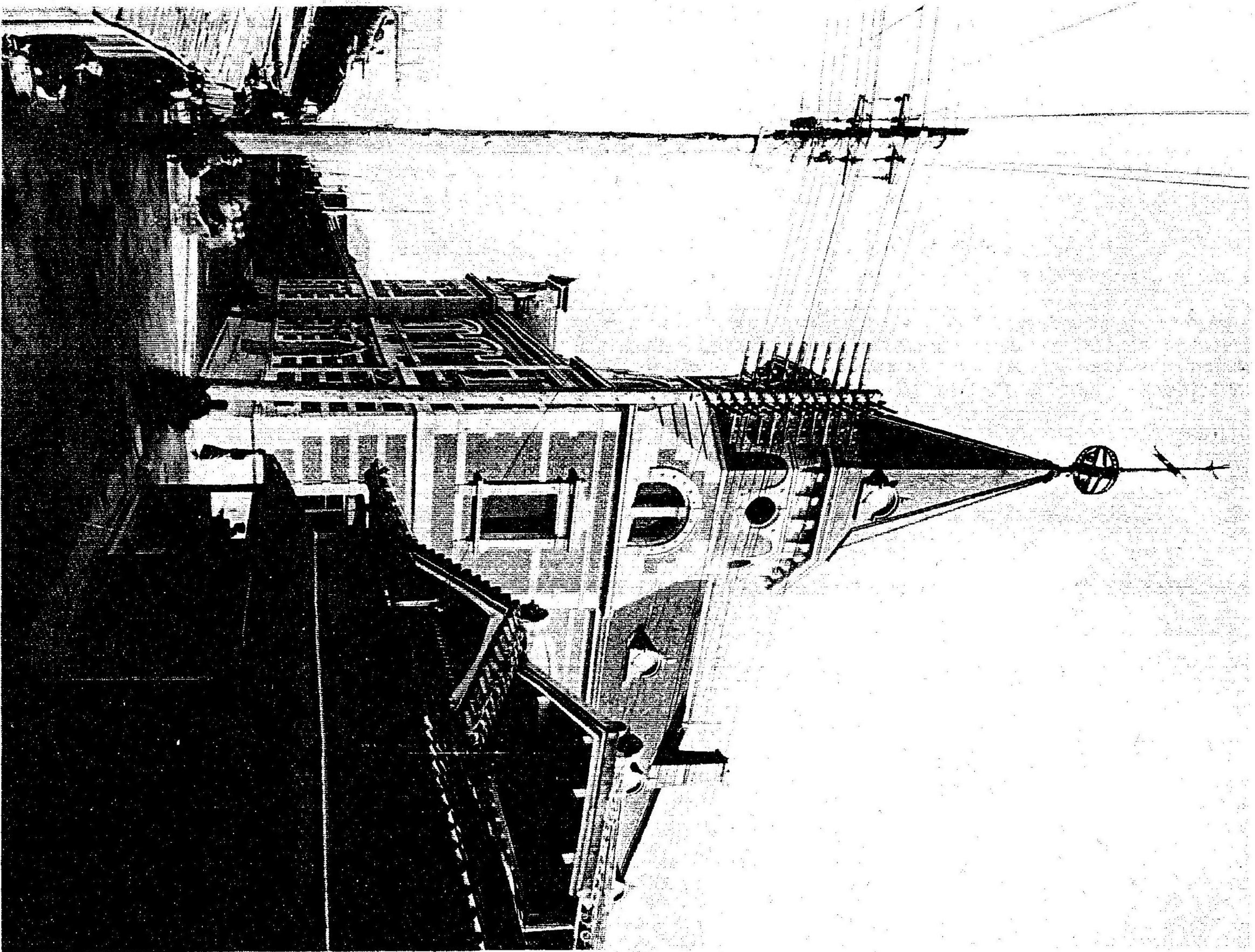
日本貯金銀行平面圖

- イ 營業室
- ロ 重役室
- ハ 金庫
- ニ 應接室
- ホ 階段室
- ヘ 後備室
- ト 營業室上部
- チ 會議室
- リ 淡路町
- 又 心齋橋筋



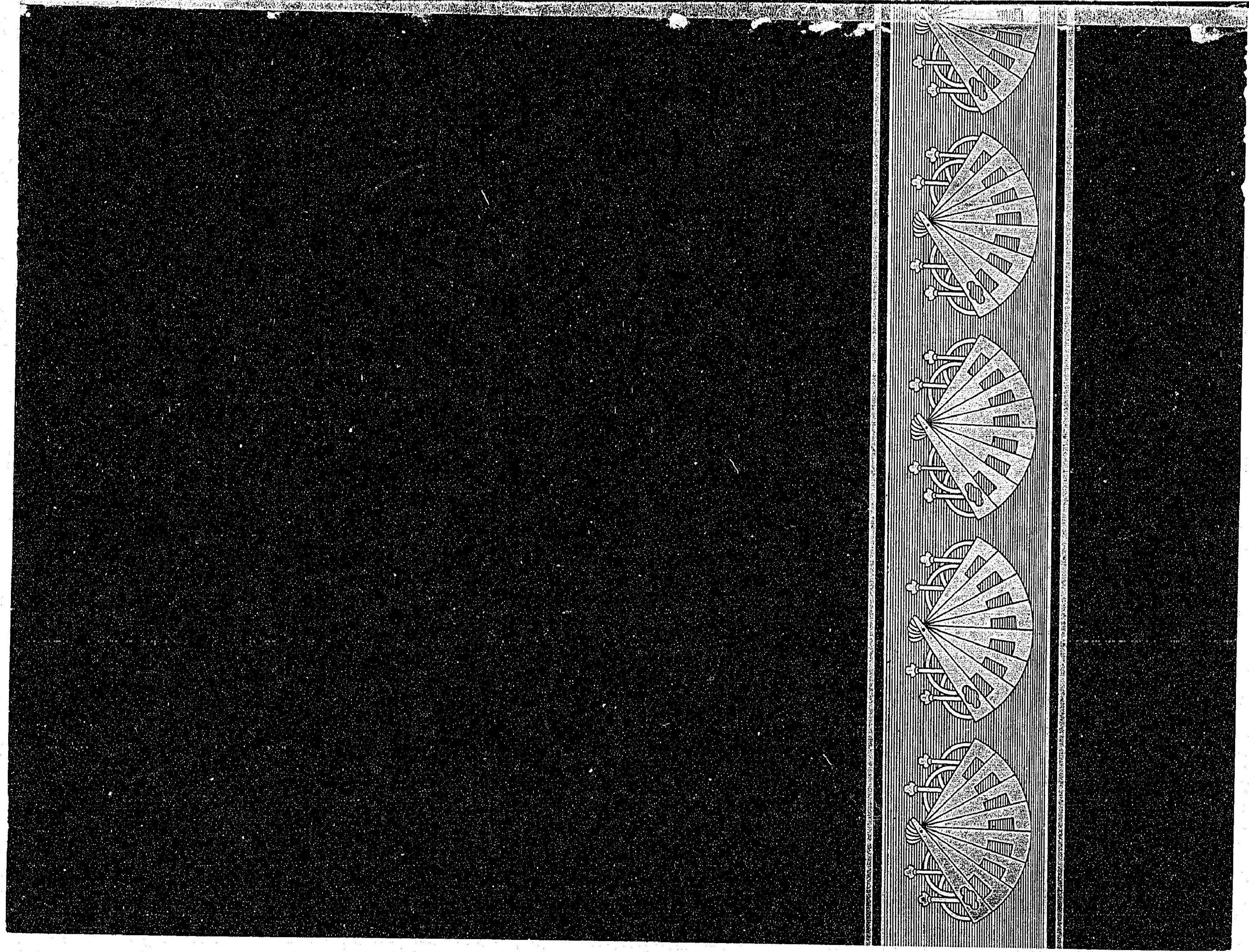


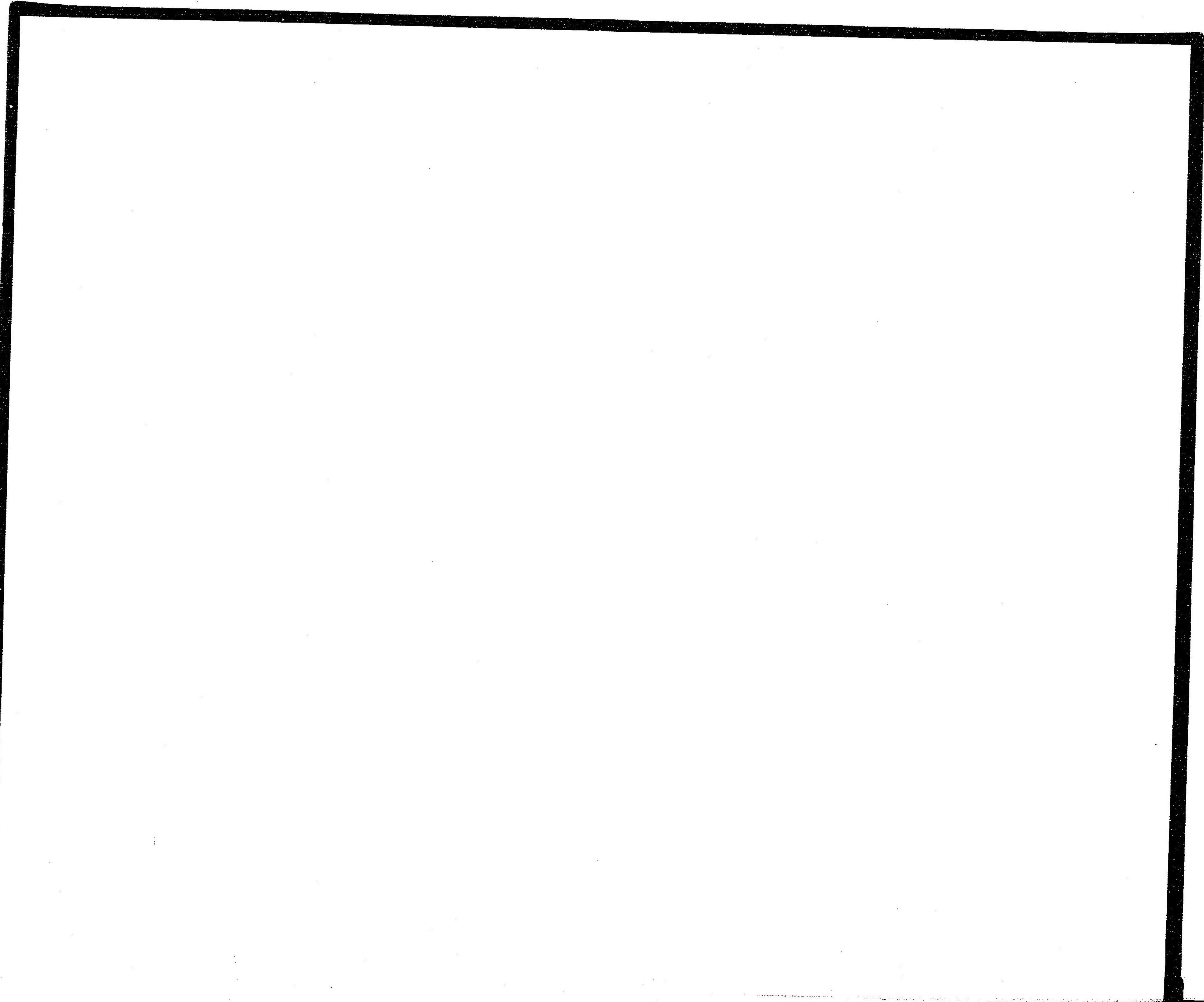
日本貯金銀行

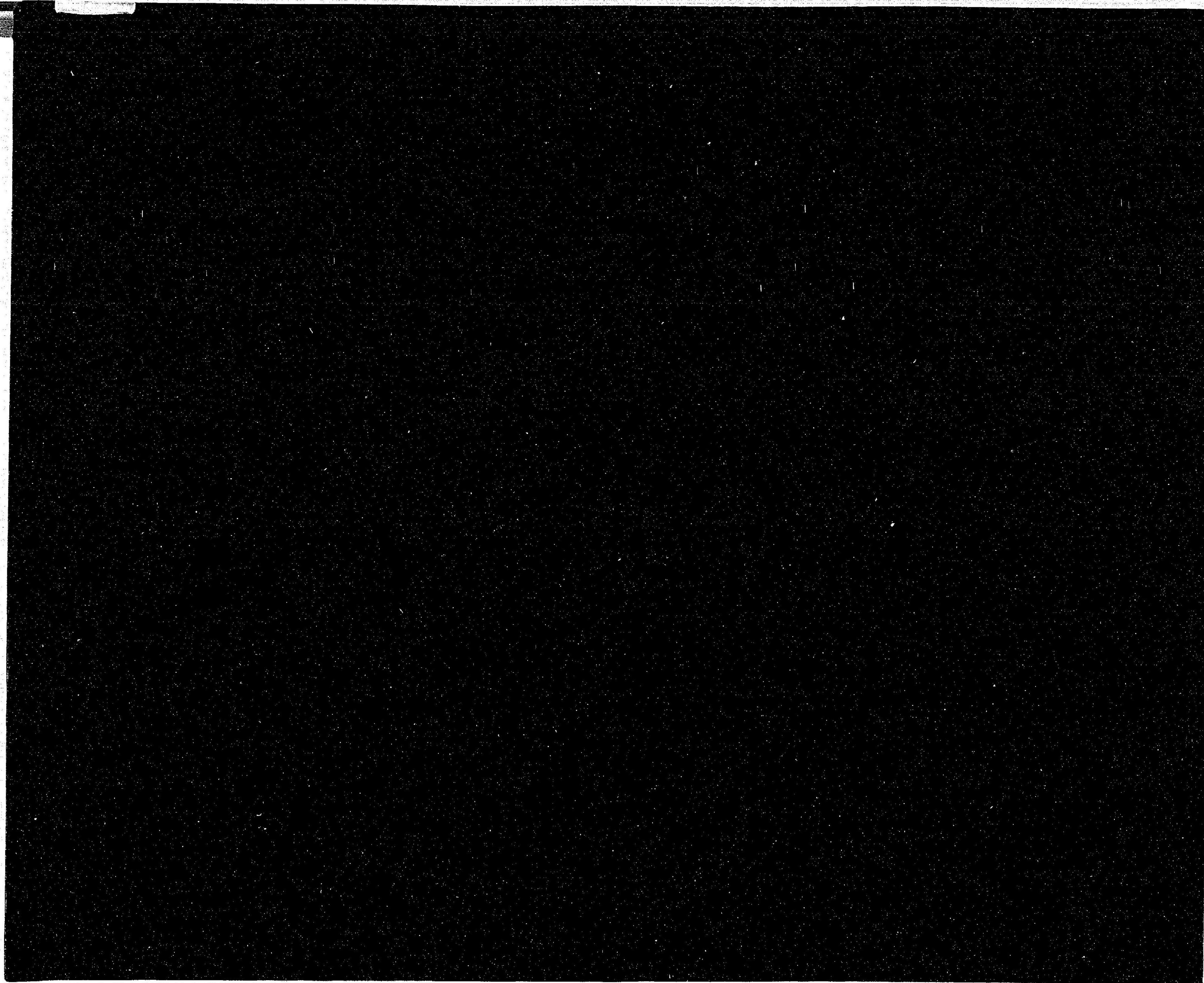


日本貯金銀行

63
503







066572-000-9

400-58

山口博士建築図集

〔出版事項不明〕

CDC-0236



